

令和6年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができている。
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができている。
- 漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

【算 数】

- 除数が少数である場合の除法の計算をすることができている。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できている。
- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述することに課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 「自分にはよいとことがある」と肯定的に捉え、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い傾向が見られる。
- 友人関係に満足しており、生活の中で、幸福感を感じている児童が多い。
- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
- 就寝時間や朝ごはん等の基本的生活習慣に課題が見られる。
- 学校に行くことや自分と違う意見について考えることが楽しいと思えない児童もいる。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 学びのプロセスを振り返る「書く活動」を取り入れた学習指導の推進
- ・ 算数科の重点単元における少人数指導の実施、専科教員の活用
- ・ 国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導
- ・ 「指導の個別化」を図るICTの活用

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ 全校での授業改善を推進する。(具体物を操作する活動を取り入れる、「学習の個性化」を図るICTの活用等)
- ・ 体験に基づいた自分の考えを説明するなど、アウトプットに重点を置いた学習指導を行う。

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・ 個々に応じた家庭学習や段階に応じた課題選択学習の推進
- ・ あすなろ(あいさつ・すりっぱ・なふだ・ろうか)の取組やあいさつ運動等、全校をあげての取組の推進

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ いいところ見つけの取組など教師や子ども同士が頑張りを認める・褒めることを意識して行う。
- ・ 学習したことが生活場面で活用できるような課題設定を行う。